

第14回 県芸術祭

第35回 県美術展

11月8日(土)→16日(日) 毎日午前10時～午後5時

県郷土文化会館

■主催

県美術家協会

県教育委員会

徳島新聞社

県芸術祭執行委員会

洋画

日本画

彫塑

美術工芸

書道

写真

商業美術

写真



招待 吉野川慕情 福島正仁



招待

朝の海

増田清次



招待 東大寺講堂跡 楠淵 魏



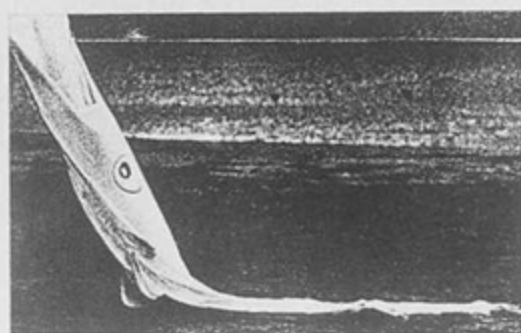
招待 祇園の女 勝西雅夫



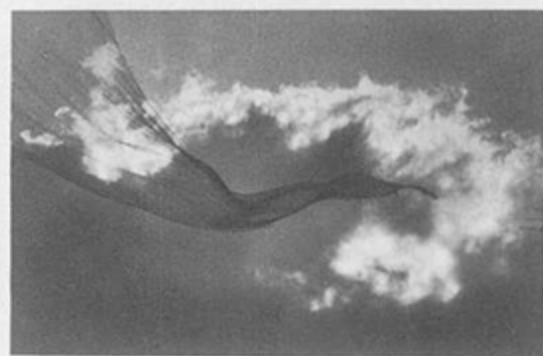
招待 元川島郵便局暮色 藤井 梵



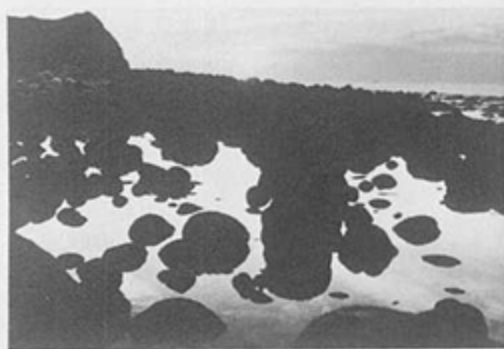
招待 灯 木田英之



招待 鳶 井上光雄



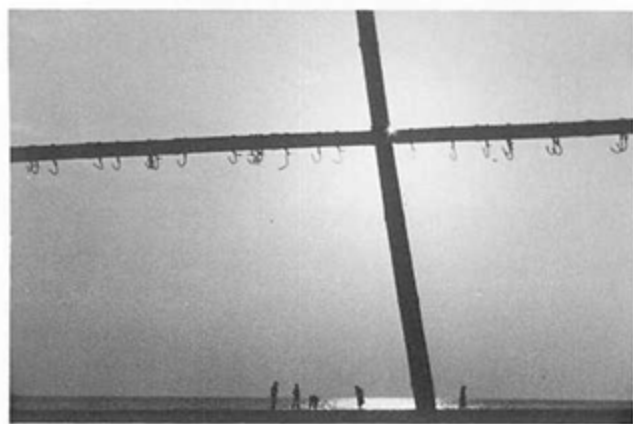
招待 風 笹田敏雄



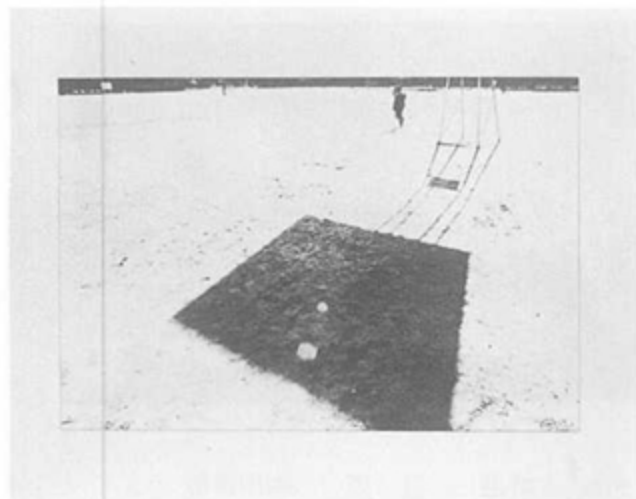
招待 朝 酒井博司



招待 夏 西條征二



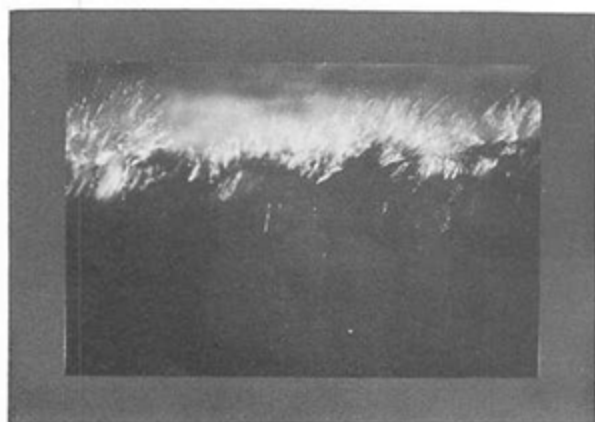
招待 夏の終り 武内 亨



無鑑査 昼さがり 安長 剛



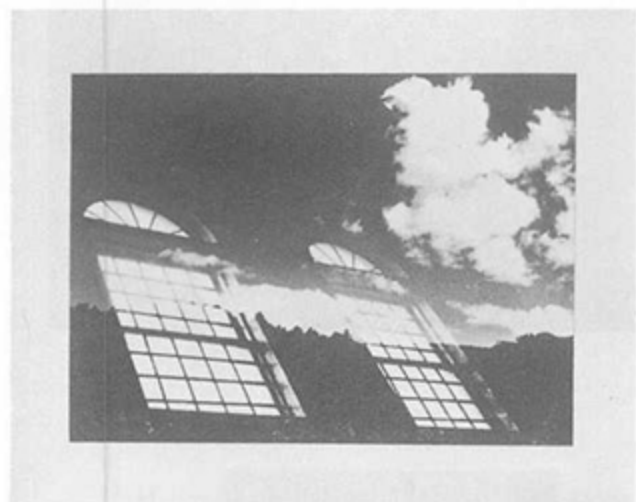
無鑑査 凍る 大西健一



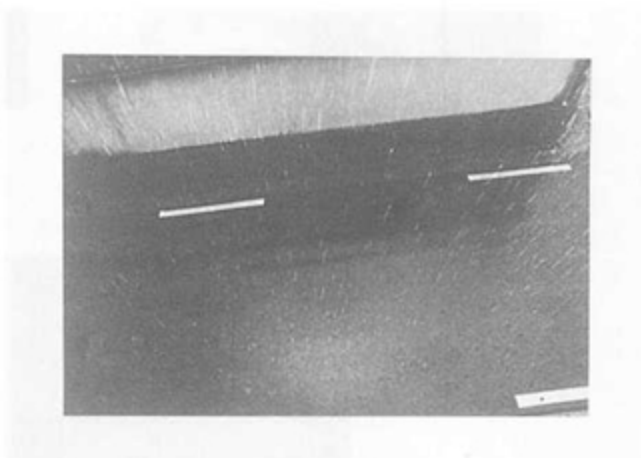
特選 クリスタルウェイブ 三好和義



特選 風 橋本圭祐



特選 浮容 吉田憲介



特選 雨 森 賢一



特選 黒い夏 多田晴美



特選 怒涛 本田隆敏

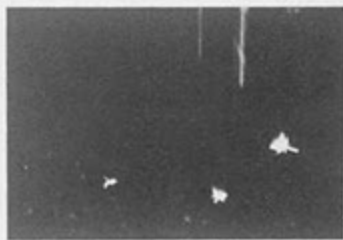


特選
祈願 古井謙吉

準特選
男（アボリジン族） 久米健雄



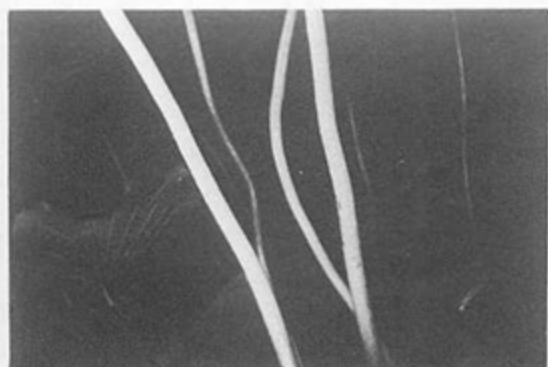
特選 爆走 上野照文



準特選
秋の詩 森賢一



準特選 少年 逢坂 登



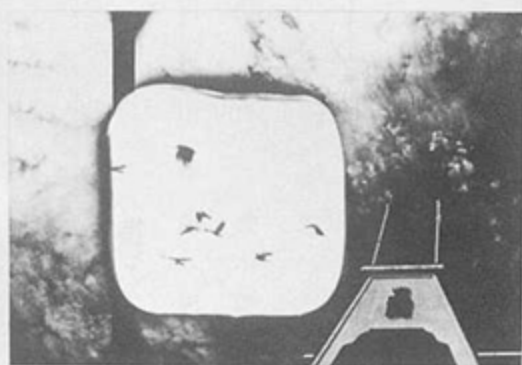
準特選 蓮 山下 聳



準特選
祈り
山本徳仁



準特選 夜の練習 佐治 考



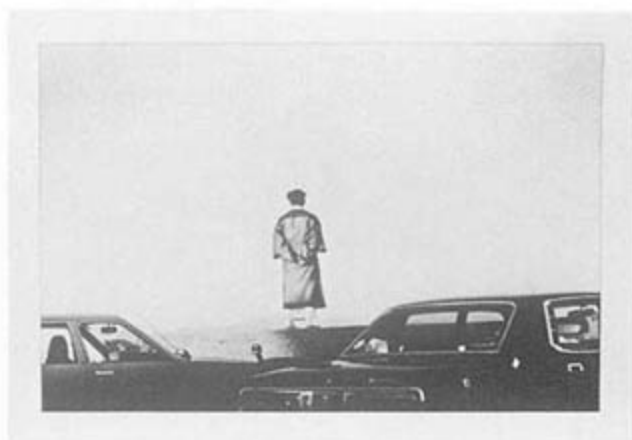
準特選 黯い日 井藤光章



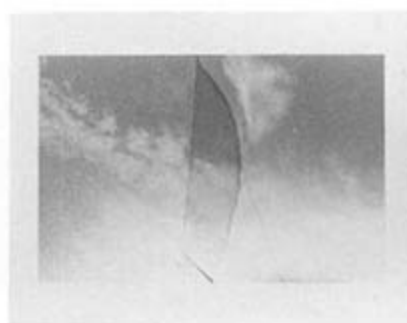
準特選
寂
伊達照子



準特選 樹 林 敏彦



準特選 或る日 武地 雅



準特選
秋空
橋本圭祐

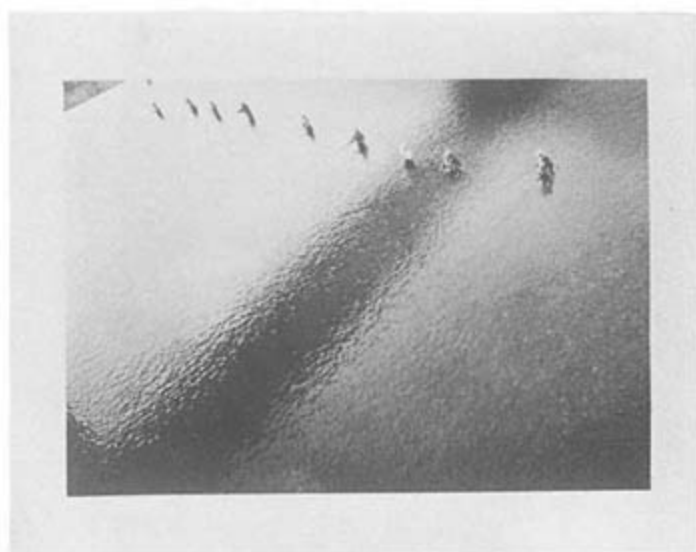
元川島郵便局暮色

祇園の女
藤井 勝西 木上 井上
井西 條田 英之
梵夫 征二 之雄

朝吉野川慕情
の川幕情
海 増田清次

福島正仁

△招 待▽



準特選 夕ぐれの釣人 松田儀平

男(南太平洋・アボ リジン族)	秋	秋	△準	黒	怒	爆	祈	浮	クリスタルウェイブ	△特	昼	凍	△無	東大寺講堂跡	夏
樹	寂	の	特	い					雨	選	さ		鑑	朝	の
		詩	選	夏	涛	走	願	容	雨	▽	が	る	査		終
久	林	伊	橋	多	本	上	古	吉	三	橋	り	大		酒	り
米	達	森	本	田	田	野	井	田	森	本	安	西	柳	柳	武
健	敏	賢	圭	晴	隆	照	謙	憲	賢	圭	長	健	井	井	内
雄	彦	一	祐	美	敏	文	吉	介	一	祐	剛	一	博	敏	亨
													司	魏	雄

斜	製	回	昼	コ	ス	冬	残	恐	紫	荒	港	南	若	△入	夜	或	黯	夕	少	祈
製	糖	所	跡	ン	タ	の	風	陽	陽	風	風	無	者	選	の	る	い	ぐ	の	の
所	の	の	下	テ	ー	(1)		花	花		阿	阿	の	▽	練	日	蓮	れ	釣	年
印	象	想	ナ	ト	(6)	(4)	照	(1)	(2)	寥	景	陀	夏		習	日	日	人	年	り
陽								山	山		仏	古			佐	武	井	山	松	逢
		堀			上	関	納	山	山	山	山	井	古		治	地	藤	下	田	坂
〃	〃	淵	〃	〃	野	口	田	〃	〃	〃	〃	謙				光	光	儀	本	德
		完	〃	〃	照	康	雄	〃	〃	〃	〃	吉			孝	雅	章	登	仁	仁
		治			文	務														

ロ	ひ	MYBOY	勝	漁	祭	一	フ	街	独	仲	潮	誓	霧	風	牛	波	仲	夕		蓮	ベ	シ
ー	と	BLIND	利	り	の	イ					(う		の				間	窓	幕		ン	ブ
カ	と		の	の	一	若	バ	刻		よ	し	草									・	リ
ル			一	若	陽	者	角			お	い	原	(2)	(2)	紋	達	暮		畑	チ	ズ	
線	き		瞬	る	者	陽	角		歩	し												
吉	林	近	岸	浦	松	前	安	賀	菊	板	佐	多	本		井		知	小	多	三		
田	藤	久	弘	文	儀	祥	雅	康	純	敏	教	照	隆	”	”	”	”	”	”	”	”	”
憲	茂	夫	子	夫	平	文	之	広	一	晴	一	宏	敏		光		行		勝	晴	和	
介	利	夫	子	夫	平	文	之	広	一	晴	一	宏	敏		章		雄		美	義		

春	少	中	雨	夜	耐	神	春		鬼	読	祈	初	祭	田	光	レス・ファースト	音
う	女	学	の	の	寒		蝶	風	猫	夏	池	夏	り	園	園	独	楽
ら	の	三	日	漁	マ			雨	女			の	の	模	スト	広	
ら	夏	年	に	り	ラ	馬	映			蓮	経	願	譜	頃	ト	場	
	今	国	齊	山	宮	原	樋	伊	武	尾	原	住	酒	田	山	吉	吉
”	出	見	藤	本	本	田	口	達	地	崎	田	友	井	中	崎	田	
	弘	武	久	徳	忠	忠	博	照	”	利	忠	貞	保	昭	孝	憲	
	弘	男	勝	仁	駿	義	美	子	雅	男	義	夫	志	男	彦	介	

日	悪	し	五	海	争	夕	う	影									
暮	暑	ぐ	月	の	の	幕	み	夏	波								
れ	夢	さ	の	ギ	い	時	ね	風									
ど	”	”	日	ヤ	”	”	こ	久	米								
き	中	篠	大	ン	”	”	岩	田	村								
	村	原	野	グ	”	”	崎	村	泰								
	敏	元	武		”	”	英	三	弘								
	雄						昭	智									

〔審査評〕

岩宮武二

四国四県の中ではるかに上位にある徳島の県展には毎年、期待感をもってやって来る。が、今年度はそれに反したというわけでもないが、総体に作品が小粒になり、全体のバラエティーに欠けていた。特に組み写真は単にするか、組みにするかもっとシビアに選ぶべきだ。表現が全く違うのに組みにしたことで、涙をのまざるを得なかった作品が多かった。またカラーももう一つ弱い。モノクロと同じように使ってほしいものだ。

上位入賞については全国的な水準と比べても少しも遜（そん）色がなく、かりに入選（百五十四点）を百点にしたなら、よりすつきりした展覧会になるだろう。特選作を評するとー。

橋本圭祐「風」は、毎年撮りつくされたモチーフをユニークに、さわやかに仕上げ、作者の視点、感性が実に端的だ。森賢一「雨」はかなり広角で撮っており、雨足、通路の白線の位置など全体の構図が的確で、堂々とした作品。上野照文「爆走」はフォトジェニックな写真の代表作として選んだ。多田晴美「黒い夏」は真下から撮った子供の跳躍する姿がおもしろく、意表をついた作品。

吉田憲介「浮容」はユニークで、この視点を発見したカメラアイを評価したい。二重露出の技術、トーンも完璧だ。本田隆敏「怒濤」は波形が美しく、シャッターのタイミングが効果的。このリアルな「波」に対し、三好和義「クリスタル・ウェーブ」(カラー)の場合は、自分の心象としての「波」を映像化したもので、フォトジェニックな作品といえる。古井謙吉「祈願」(組み)は抽象的なもの見方で、抽象的なテーマを写し込んでいるのに感心した。

今後に望みたいのは、今の県展がもっている多様性、写真に対する態度はそのままにして、来年も突っ走ってほしいことだ。